

菜 種

なたね
農業委員会だより

編集と発行
北栄町農業委員会
北栄町由良宿423-1
(北栄町大栄庁舎2階)
TEL(0858)37-3135

夢ある農場から 地域の活性化へ



株式会社 北栄ドリーム農場

2月下旬、ドリーム農場のイチゴハウスを訪問しました。紅ほっぺを中心に、1日約300パック(2月時点)を県内外へ出荷されていました。真っ赤に熟した大粒のイチゴをていねいに摘み取られていた山田楓子さん(写真)は、「見た目も綺麗

で、とても楽しい仕事です。」と話されました。これから暑くなってくると、日の出とともに収穫するそうです。

選果とパック詰めを行う作業場では、機械の音声がとても賑やかでした。機械がサイズを教えてくださいるので、パックのイチ

ゴがきちんと揃い、綺麗に輝いていました。地域おこし協力隊の石川聖磨さんは「住居と農地が確保できれば、北栄町でイチゴ栽培に取り組んでみたい」と話されていました。

(取材 池田 誠、濱根 泰弘)

申請書(議案)締め切り日と総会の予定 (2019年4月~7月)

月	申請書 締め切り日	総会日(予定)
4月分	(受付終了)	4月10日(水)
5月分	4月25日(木)	5月10日(金)
6月分	5月27日(月)	6月10日(月)
7月分	6月25日(火)	7月10日(水)

【主な内容】

- 特集 農地利用最適化推進活動 始めました!
- 大栄西瓜 順調に生育中
- 青年農業者研修会報告

第4弾 農産物プレゼントクイズ

特集

農地利用最適化推進活動 始めました!

農業委員会の組織改編からおよそ一年、手探りの中進めてきた最適化活動についてご紹介します。

「農地利用最適化推進活動」とは、将来にわたって農地が有効活用されるようにする活動です。

スイカをはじめとする施設野菜、水稻、花きなどの生産が盛んで、農業に活気があると認識されている上種自治会をモデル地区として活動を行うことにしました。農家は21世帯で、所有農地は田12ha・畑34haで、栄地区内でも農業が盛んな自治会です。



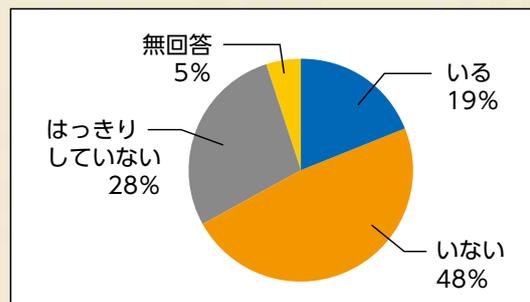
(写真) 上種の畑から風車を望む

1. アンケート調査の実施

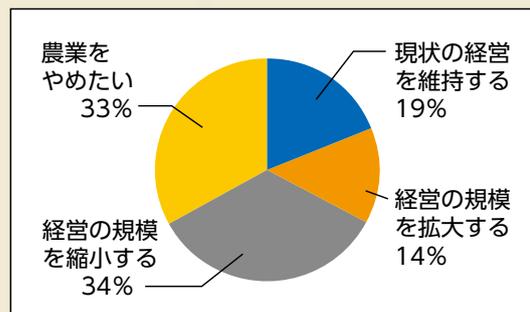
まず、平成30年10月、上種自治会の農家21世帯を対象に、後継者の有無や経営の見直しなど、30項目の内容についてアンケートを実施しました。

2. 主な調査結果

農家21世帯中14世帯が、今後の経営について規模縮小や離農の意向を持ち、今後、農地を貸したい・売りたいと考えている。また、現在耕作している農地について、「今後、耕作しないで放置する」との回答もあり、地域で状況、課題を共有する必要がある。



I. あなた(経営主)には、後継者がいますか。



II. あなた(経営主)は自分の経営について、今後どのようにしたいと考えていますか。

3. 結果報告及び意見交換会の実施

2月8日、上種公民館にて現地報告会を実施しました。地元農家に加えて、役場、農業改良普及所など沢山の関係機関の参加もいただき、活発な議論が交わされました。最後に地元での話し合いの継続を願い、各関係機関も今後の惜しみない協力を約束して閉会となりました。



上種公民館にて話し合い

1軒の農家では解決方法の見つからない問題も、沢山の関係者で話し合うことで問題解決の糸口にたどり着くことができます。将来のためにもともに頑張っていきましょう。

(取材・文 永田 恭彦、齋尾 直久)

意見交換の司会を担当しました。担い手農家や兼業農家から『農地の維持が難しい』という意見が多く出され、問題解決の難しさを改めて感じました。



上種地区担当委員
徳山 英晴

参加者の声

すいか 大栄西瓜 順調に生育中

雪のない珍しい冬に一本一本丁寧に接ぎ木をしたスイカの苗は、大事に育てられ、今年も3月1日から210軒、169ha（3月4日時点）で、植え付けが始まりました。6月初旬の、スーパーブランド「大栄西瓜」の初出荷を目指し、沢山の手間をかけた栽培されています。（文・杉川 一二美）



2/7 接いだばかりの苗



3/1 苗植え



3/20 すくすくと生育中



2/13 第7回青年農業者研修会を開催

テーマ：「未来へ繋げる土づくり（2）」

2月13日、鳥取大学農学部より山本定博教授を再度お迎えし、7回目となる青年農業者研修会を開催しました。農業の基礎とも言うべき土の興味深いお話をしていただきました。土壌は何からできているのか、土壌は隙間がいのち、隙間だらけの物質であること、その隙間に水・空気・生物を保持することにより、土壌の保水性、通気性、養分保持能と深い関係があることを学びました。天候もよく、多忙な農作業の中、ご参加いただきました青年農業者の皆様、お疲れ様でした。次回も山本教授をお迎えし、土づくりの研修会を行う予定です。青年農業者の皆様、是非ともご参加ください。



土壌の断面図を手に説明される山本教授

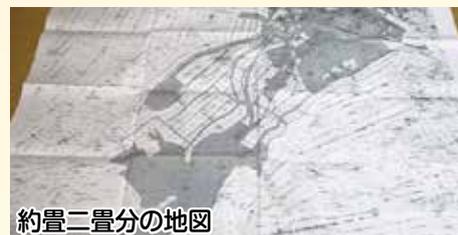
(文・竹信 啓子)



1/22 由良地区の農地状況話し合う

1月22日、由良地区の担当委員7名が集まり、所有者、番地が記載された土地図面（1：2000）をカットし貼り合わせて、担当地区毎に農地の状況を確認しました。

今後は、担い手の耕作地を図面に落とし込み、集積・集約に取り組んでいきます。（文・一二三 満雄）



約畳二畳分の地図

農産物プレゼントクイズ

すいか (2名様)
大栄西瓜

クイズ

最適化推進活動のモデル地区となったのは？

答え ○○自治会

(ヒント 2ページをご覧ください)

応募箱に備え付けの応募用紙、ハガキ等またはメール本文に、○に入るクイズの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・「菜種」へのご意見、ご感想を書いて、郵送、持参、メール（下記アドレス（右下のQRコードで読み取り可能））で応募してください。ただし、応募は町内在住の方で1世帯につき1通に限ります。

- ・応募箱は、北栄町図書館本館・北条分室に置いています。
- ・当選者には電話にてご連絡します。
- ・賞品の受け渡し場所は、農業委員会事務局です。

応募期限：2019年5月5日(日) (当日消印有効)

郵送先：〒689-2292 東伯郡北栄町由良宿 423-1

農業委員会事務局「農業委員会クイズ係」

メールアドレス：nougouuinkai@e-hokuei.net



前回の正解は 担い手 積立 年金

緊急告知!

近年、有害鳥獣被害が拡大しています。下北条地区において、昨年10月に土下の果樹園のくくり罠にイノシシがかかりました。今年2月には、土下のJR踏切南側の畑にて2頭のイノシシが出没し、1頭は猟友会が駆除、もう1頭は山に逃走しました。米里地区でも、水田、畑への被害があり、昨年11月には小学生の通学路付近にサルが出ました。また、栄地区においては、イノシシ、アナグマ等が出没し、水稻、スイカ、野菜に百万円単位での被害が出ています。

有害鳥獣を見かけたり、被害に遭った方は、役場産業振興課（☎ 37-3152）にご一報ください！

空き農地情報バンク

売買、貸借に至らなかった農地について、買い手・借り手を探しています。

《売りたい・貸したい》

No	農地の所在	地目	面積(a)
1	国坂東小野2576(貸借)	畑	10
2	江北上池 4779 (売買)	田	26
3	上種島田 182-1 (貸借)	田	11
4	上種樋ノ詰 252-1 (貸借)	田	14

農業者年金

～要件を満たしているか、ご確認ください～

被保険者の皆様へ

政策支援加入の方が認定農業者の更新を行わなかった場合には、要件を満たしていない期間について保険料補助を受けることができません。認定農業者の期間満了を迎える方は、必ず更新を行ってください。



お問合せ先 産業振興課
☎ 37-3152

受給権者の皆様へ

経営移譲年金・特例付加年金を受給されている方は、後継者に貸した農地が返還され、適切な対応をしなかった場合、また諸名義が後継者名義でなく受給権者本人の名義になった場合には、年金が減額になる場合がありますので、事前に農業委員会事務局までご相談ください。

お問合せ先 農業委員会事務局
☎ 37-3135



捕獲されたアナグマ



被害に遭ったスイカ

！ ご注意ください ！ 田畑の転用には許可・届出が必要です。ご相談は農業委員会事務局まで。

編集後記

今年は暖冬で雪が積もることがほとんどなく、例年雪が降らない地域に雪が積もったり、何とも不思議な年でした。暖かい春を迎え、新体制2年目を迎ようとしています。自然災害が多く発生した平成も最後となり、新しい元号が何になるかを心待ちにしながら、自然災害のない普通の生活が送れることを願いつつ、町民の皆様がこの広報誌が心待ちにされるような誌面になるように広報委員一同頑張っていきます。

今回の農産物プレゼントクイズの賞品は、甘～い大栄スイカです。皆様ふるってご応募ください。次号は7月発行予定です。
(竹信 啓子)

広報委員／杉川 一二美・濱根 泰弘・池田 誠・前田 浩明・永田 恭彦・齋尾 直久・竹信 啓子・一二三 満雄